

出品作家による

# ギャラリートーク

2時開演・展示室3・要観覧券

「おもろいやつら」展の開催に合わせて、2週連続で2名の作家の方々に自作についてお話ししてもらいます。

## 植松奎二 × 大島成己

7月20日[月・祝]

うえまつ けいじ 1947年兵庫県生まれ。現在、大阪とドイツを拠点に活動している。今回は作家自身が登場する初期の写真作品を出品。コンセプチュアルな作品ながら、それを実行する作家の様子はどこかユーモラス。

おおしま なるき 1963年大阪府生まれ。現在、京都を拠点に活動している。今回は、作家自身の写真をもとにしたシルクスクリーンの作品を出品。そもそも、自らの記憶にあるイメージから逃れたいという願望が出発点。未知の自画像に会おうとする試み。

## 福岡道雄 × 宮崎豊治

7月26日[日]

ふくおか みちお 1936年大阪府生まれ。現在、大阪在住。2005年末の個展を最後に作品の制作をやめている。今回の出品作では、作家自身が生き物や石と同化しようとする様が見られる。内向的なテーマにもかかわらず、微笑みを誘う。

みやざき とよはる 1946年石川県生まれ。大学卒業後、神戸に移り、現在は京都を拠点に活動している。今回の出品作は、作家の生家近辺の風景と血族にもとづくもの。細い枝状の先に葉っぱのようにも見える人型が危なっかしくくっついている。

植松奎二  
〈水平の場〉  
1973年



大島成己  
〈Untitled(BLACK MAN)〉  
1991年

福岡道雄  
〈鮎になれるか〉  
1984年



宮崎豊治  
〈眼下の庭〉  
1993年

